

# 東京海上日動 円建てリパッケージ債 ファンド 11-12

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／国内／債券
信託期間	2011年12月20日から2014年12月8日までです。
運用方針	主として、高格付（設定時においてA格相当以上）の外国債券を特別目的会社（以下、「SPC」といいます。）が円建てにリパッケージしたユーロ円建て債券（以下「円建てリパッケージ債券」といいます。）に投資を行い、満期償還時の投資元本の確保および金利収入の獲得を目指します。円建てリパッケージ債券は、残存期間を約2年半から約3年までとし、市場環境を踏まえて設定日に銘柄を選定し、1銘柄に投資します。発行体は海外の金融機関が設立したSPCとします。なお、投資する円建てリパッケージ債券が信託期間内に満期償還を迎える場合は、当該債券の償還後、ファンドは速やかに繰上償還を行います。ただし、円建てリパッケージ債券の償還日からファンドの当初の信託終了日までの期間が概ね2週間以内の場合は、ファンドは2014年12月8日に償還となります。
主要投資対象	特別目的会社が発行するユーロ円建て債券を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎年6月8日、12月8日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、元本超過額または経費控除後の利子・配当等収益のいずれか多い金額とします。 分配金額は、委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、収益分配を行わないことがあります。

## 第6期【償還】

### 運用報告書(全体版)

【2014年12月8日償還】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

皆様の「東京海上日動 円建てリパッケージ債ファンド11-12」は、2014年12月8日をもって信託期間を終了し、償還を迎えました。ここに設定来の運用経過及び償還金お支払いのご報告をいたしますとともに、皆様のご愛顧に対して改めてお礼申し上げます。

今後とも、弊社ファンドに対しまして、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ  
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。  
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



## ○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	準 価 額			受 益 者 債 券 元 本 率	利 回 り 組 入 比 率 残 存 本 率
		税 込 分 配 金	期 騰 落 中 額	期 騰 落 中 率		
(設定日)	円 銭	円	円 銭	%	%	%
2011年12月20日	10,000	—	—	—	—	100.0
1期(2012年6月8日)	9,861	100	△ 39	△0.4	△0.8	98.2
2期(2012年12月10日)	10,201	100	440	4.5	4.1	98.2
3期(2013年6月10日)	10,182	100	81	0.8	3.3	98.1
4期(2013年12月9日)	10,114	100	32	0.3	2.6	98.1
5期(2014年6月9日)	10,026	100	12	0.1	2.1	98.1
(償還時)	(償還価額)					
6期(2014年12月8日)	10,114.32	—	88.32	0.9	2.1	96.8

- (注) 1. 基準価額および分配金(税引前)は1万口当たり、設定日の基準価額は、1万口当たりの当初設定元本額です。  
2. 基準価額の期中騰落額と期中騰落率、および受益者利回りは、分配金(税引前)込みです。  
3. 受益者利回りは、設定来の年率換算利回りです。  
4. 当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 券 元 本 率
		騰 落	率	
(期 首)	円 銭		%	%
2014年6月9日	10,026		—	98.1
6月末	10,027		0.0	97.9
7月末	10,026		0.0	97.8
8月末	10,024		△0.0	97.6
9月末	10,024		△0.0	97.5
10月末	10,019		△0.1	97.3
11月末	10,115		0.9	—
(償還時)	(償還価額)			
2014年12月8日	10,114.32		0.9	—

(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比です。

当ファンドの設定に伴い、決定した事項は以下の通りです。

<p>ファンドの信託報酬率</p>	<p>毎 日：信託財産の元本総額に対して年率0.3564%（税抜0.33%）          うち委託会社 年率0.3240%（税抜0.30%）          うち受託会社 年率0.0324%（税抜0.03%）          ※償還日における消費税率は8%です。          設定日：信託財産の元本総額に対して1.5750%（税抜1.50%）          うち販売会社 1.5750%（税抜1.50%）          ※設定日における消費税率は5%です。</p>																																						
<p>目標分配額 （1万口当たり、税引前）</p>	<p><b>第1期～第5期 各期100円</b>          （なお、最終計算期間の分配相当額は、償還価額に含めてお支払いします。）          ※目標分配額は、裏付資産の発行体、為替ヘッジ取引相手等が破綻や財務状況の悪化等に陥らず、当初予想通りの運用成果が得られた場合のものであります。したがって、分配額を保証するものではありません。</p>																																						
<p>組入れた円建て リパッケージ債券の発行体</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5" data-bbox="404 526 1248 551">WILLOW NO.2 (GAYMAN) LIMITED</th> </tr> <tr> <th colspan="2" data-bbox="404 556 830 582">&lt;裏付資産&gt;</th> <th data-bbox="830 556 1077 582">格 付</th> <th data-bbox="1077 556 1166 582">設定日</th> <th data-bbox="1166 556 1248 582">当期末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" data-bbox="404 586 830 612">発行体：ゴールドマン・サックス・グループ</td> <td data-bbox="830 586 1077 612">スタンダード・アンド・プアーズ</td> <td data-bbox="1077 586 1166 612">A-</td> <td data-bbox="1166 586 1248 612">A-</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="404 616 830 642"></td> <td data-bbox="830 616 1077 642">ムーディーズ</td> <td data-bbox="1077 616 1166 642">A1</td> <td data-bbox="1166 616 1248 642">Baa1</td> </tr> <tr> <th colspan="2" data-bbox="404 672 830 698">&lt;為替ヘッジ取引相手&gt;</th> <th data-bbox="830 672 1077 698">格 付</th> <th data-bbox="1077 672 1166 698">設定日</th> <th data-bbox="1166 672 1248 698">当期末</th> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="404 703 830 728">パークレイズ・バンク・ピーエルシー</td> <td data-bbox="830 703 1077 728">スタンダード・アンド・プアーズ</td> <td data-bbox="1077 703 1166 728">A+</td> <td data-bbox="1166 703 1248 728">A</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="404 733 830 759"></td> <td data-bbox="830 733 1077 759">ムーディーズ</td> <td data-bbox="1077 733 1166 759">Aa3</td> <td data-bbox="1166 733 1248 759">A2</td> </tr> </tbody> </table>				WILLOW NO.2 (GAYMAN) LIMITED					<裏付資産>		格 付	設定日	当期末	発行体：ゴールドマン・サックス・グループ		スタンダード・アンド・プアーズ	A-	A-			ムーディーズ	A1	Baa1	<為替ヘッジ取引相手>		格 付	設定日	当期末	パークレイズ・バンク・ピーエルシー		スタンダード・アンド・プアーズ	A+	A			ムーディーズ	Aa3	A2
WILLOW NO.2 (GAYMAN) LIMITED																																							
<裏付資産>		格 付	設定日	当期末																																			
発行体：ゴールドマン・サックス・グループ		スタンダード・アンド・プアーズ	A-	A-																																			
		ムーディーズ	A1	Baa1																																			
<為替ヘッジ取引相手>		格 付	設定日	当期末																																			
パークレイズ・バンク・ピーエルシー		スタンダード・アンド・プアーズ	A+	A																																			
		ムーディーズ	Aa3	A2																																			

※ムーディーズ、スタンダード・アンド・プアーズとも金融商品取引法に基づいた信用格付業者の登録を受けておりません。

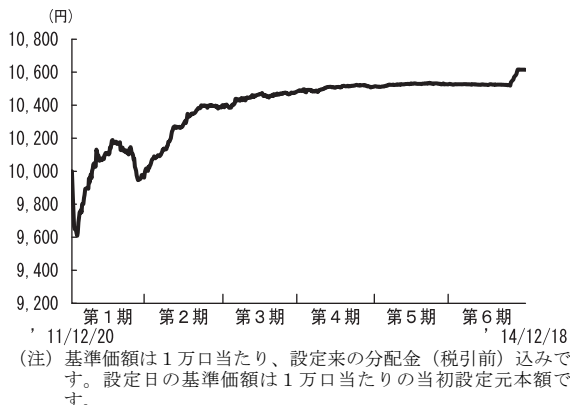
※裏付資産の発行体、為替ヘッジ取引相手等の破綻や財務状況の悪化および財務状況に関する外部評価の変化等の影響により、円建てリパッケージ債券の価格が大きく下落することや、投資資金が回収不能となる場合があります。このような場合には、ファンドの基準価額が大幅に下落し、大きな損失を被ることになります。

## 設定来の運用実績 (2011年12月20日～2014年12月8日)

### ◎基準価額の推移

基準価額は、設定当初の10,000円から10,114円32銭で償還を迎えました。

基準価額の推移



### ◎投資環境 (市況)

#### (債券市場)

10年国債利回り (以下「長期債利回り」といいます。)は、米連邦公開市場委員会 (FOMC) において量的緩和第3弾 (QE3) の導入が決定されたことや、世界経済に対する減速懸念から、長期債利回りが低下しました。2012年11月に入り、衆議院解散が表明されると、日銀に対する金融緩和期待が高まり、長期債利回りは低下基調を強めました。衆議院選挙後、円安株高の動きが強まったことや、財政支出拡大から国債増発懸念が高まったことなどから、長期債利回りは反発しました。2013年4月4日に、日銀が「量的・質的金融緩和」の導入を決定したことから、長期債利回りは急低下しました。しかし、利回りの急低下に対する反動や、流動性低下に対する警戒感に加え、米連邦準備制度理事会 (FRB) 議長が資産購入規模の縮小の可能性を示し、米長期金利が上昇したことなどから、長期債利回りは急上昇しました。その後、日銀による国債大量買入れを背景とした良好な債券需給に加え、安倍首相が消費税

率の引き上げを正式に表明し、財政再建路線が維持されるとの見方が広がったことから、長期債利回りは低下しました。2013年末にかけては、FRBによるQE3の縮小開始の決定を受け、円安株高の動きが加速したことから、長期債利回りは上昇しましたが、欧州中央銀行 (ECB) によるマイナス金利導入や、欧米によるロシアへの経済制裁強化が打ち出され、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、長期債利回りは低下に転じました。さらに、日銀が追加金融緩和を決定し、国債需給の逼迫感が強く意識されたことや、世界的な物価上昇圧力の弱まりによる債券利回りの低下を受け、長期債利回りは低下基調を強めました。

#### (クレジット市場)

当ファンドが組入れているユーロ円建て債券の裏付資産の発行体であるゴールドマン・サックス・グループの信用スプレッド (国債に対する利回り格差) は、2012年6月に欧州の債務不安が高まり、米格付会社により格付けが引き下げられたことから、急拡大しました。しかし、ECBが新たな国債買入れプログラム (OMT) を決定したことを受け、欧州の債務不安が後退したことから、信用スプレッドは急速に縮小しました。その後、2013年6月には、米長期金利が急上昇し、欧米の金融機関に対する信用力に対する評価が低下し、信用スプレッドが拡大する場面もありました。しかし、米国のゼロ金利政策が長期化するとの見方が強まったことや、ECBが追加金融緩和に踏み切り、世界的に株価が上昇したことから、信用スプレッドは縮小基調を辿りました。

### ◎ポートフォリオについて

#### (債券組入比率)

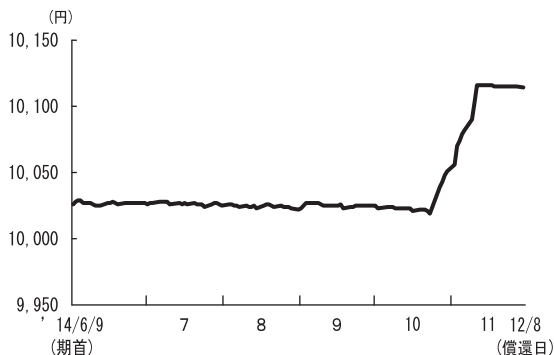
投資方針に従い、設定日 (2011年12月20日) に買い付けた、ゴールドマン・サックス・グループが発行する債券を裏付資産とするWILLOW NO. 2 (CAYMAN) LIMITED (特別目的会社) 発行のユーロ円建てリパッケージ債券の組入比率を高位に保ちました。なお、ユーロ円建て債券は、2014年11月19日に満期償還となりました。

当期の運用実績 (2014年6月10日～2014年12月8日)

### ◎基準価額の推移

基準価額は、前期末の10,026円から償還日には10,114円32銭となりました。

当期中の基準価額の推移



### ◎基準価額の変動要因

#### (主なプラス要因)

債券保有期間に応じた収益が着実に積み上がったことが、プラスに寄与しました。

#### (主なマイナス要因)

特にありません。

### ◎投資環境 (市況)

#### (債券市場)

欧米によるロシアへの経済制裁強化が打ち出され、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、長期債利回りは低下しました。さらに、日銀が追加金融緩和を決定し、国債需給の逼迫感が強く意識されたことや、世界的な物価上昇圧力の弱まりによる債券利回りの低下を受け、長期債利回りは低下基調を強めました。

### (クレジット市場)

ゴールドマン・サックス・グループの信用スプレッドは、地政学的リスクの高まりから、2014年10月中旬にかけて拡大しました。しかし、その後は世界的に株価が上昇したことから、欧米金融機関の信用力が全般に回復し、ゴールドマン・サックス・グループの信用スプレッドも縮小に向いました。

### ◎ポートフォリオについて

#### (債券組入比率)

投資方針に従い、設定日(2011年12月20日)に買い付けた、ゴールドマン・サックス・グループが発行する債券を裏付資産とするWILLOW NO. 2 (CAYMAN) LIMITED (特別目的会社) 発行のユーロ円建てリパッケージ債券の組入比率を高位に保ちました。なお、ユーロ円建て債券は、2014年11月19日に満期償還となりました。

### ◎ごあいさつ

平素は格別のお引き立てにあずかり有難く厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、2014年12月8日をもちまして、満期償還となりました。

設定以来の皆様のご愛顧に対して改めてお礼申し上げます。

今後とも、弊社ファンドに対しまして一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## 〇1万口当たりの費用明細

(2014年6月10日～2014年12月8日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	円 18 (16) (-) (2)	% 0.177 (0.161) (-) (0.016)	(a) 信託報酬=計算口当たり計理上元本×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 ( 監 査 費 用 )	1 (1)	0.005 (0.005)	(b) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	19	0.182	
期中の平均基準価額は、10,039円です。			

- (注) 1. 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
2. 各金額において基準価額は円未満切り捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
3. 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 〇売買及び取引の状況

(2014年6月10日～2014年12月8日)

## 公社債

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国 内	普通社債券（含む投資法人債券）	-	(304,885)

- (注) 1. 金額は受渡代金です。（経過利子分は含まれておりません。）  
2. 単位未満は切り捨てです。  
3. ( )は償還等による増減分です。  
4. 普通社債券（含む投資法人債券）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

## 〇利害関係人との取引状況等

(2014年6月10日～2014年12月8日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2014年12月8日現在)

2014年12月8日現在、有価証券等の組入れはございません。

## ○投資信託財産の構成

(2014年12月8日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 314,111	% 100.0
投資信託財産総額	314,111	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てです。

## ○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2014年12月8日現在)

## ○損益の状況 (2014年6月10日～2014年12月8日)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	314,111,378
コール・ローン等	314,111,292
未収利息	86
(B) 負債	567,405
未払信託報酬	550,790
その他未払費用	16,615
(C) 純資産総額(A-B)	313,543,973
元本	310,000,000
償還差益金	3,543,973
(D) 受益権総口数	310,000,000口
1万口当たり償還価額(C/D)	10,114円32銭

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	3,172,035
受取利息	3,141,230
その他収益金	30,805
(B) 有価証券売買損益	125,003
売買益	125,003
(C) 信託報酬等	△ 567,405
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,729,633
(E) 前期繰越損益金	814,340
償還差益金(D+E)	3,543,973

- (注) 1. 運用報告書作成時点では、監査未了です。  
2. 計算期間末における1口当たり純資産額は1.011432円です。  
3. 当ファンドの設定元本額は320,000,000円、期首元本額は310,000,000円、期末における元本残存率は96.8%です。

- (注) 損益の状況の中で、(C)信託報酬等は消費税等相当額、監査費用を含めて表示しております。

## ○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2011年12月20日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2014年12月8日		資産総額	314,111,378円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	567,405円
受益権口数	320,000,000口	310,000,000口	△10,000,000口	純資産総額	313,543,973円
元本額	320,000,000円	310,000,000円	△10,000,000円	受益権口数	310,000,000口
				1万口当たり償還金	10,114円32銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	320,000,000円	315,567,908円	9,861円	100円	1%
第2期	320,000,000	326,442,151	10,201	100	1
第3期	320,000,000	325,813,884	10,182	100	1
第4期	320,000,000	323,643,409	10,114	100	1
第5期	310,000,000	310,814,340	10,026	100	1
信託期間中1万口当たり総収益金及び年平均収益率				614円32銭	2.0685%

## ○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税込み）		10,114円32銭
源泉税	所得税	17円50銭8厘
	地方税	5円71銭6厘
源泉税合計		23円22銭4厘
お手持り額		10,091円09銭6厘
支払開始日		2014年12月12日（金）までの間に支払いを開始します。
お支払場所		取得申込みを取扱った販売会社の本支店

## ＜約款変更のお知らせ＞

法令諸規則の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。（実施日：2014年12月1日）